



東京YMCA

2011 5 月号

発行所 公益財団法人東京YMCA 発行人 廣田光司
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体的全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

We build strong kids, strong families, strong communities. YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を築きます。

支援活動続く

東日本大震災 救援・復興募金により

東京YMCAは、多くの方々からいただいた募金をもとに、支援活動を続けています。今後も被災地に寄り添い、中長期的に活動していきますので、引き続き、「支援・ご協力」をお願い申し上げます。(3面に続く)

石巻ワークキャンプ

報告・会員部運営委員長 笈川光郎

- 東京YMCA会員部が主催した第1期石巻被災地ボランティアワークキャンプ(4月2日～5日)に参加したので報告する。
1. ボランティア先
石巻市涌谷教会飯岡洋介牧師(元東京YMCA主事)の紹介で被災者のお宅にお伺いした。
 2. 作業内容
(1) 1軒目は津波で海水に1週間近く浸かったお宅。畳、家具や部屋の清掃。家の周りの道路のヘドロの袋詰め。家具を動かすのは一緒に参加した3人のリーダーの力が大いに役立った。畳を持ち上げるにも、バリで剥がす必要があるほど、畳の下に入り込んだ泥がべっとり畳を貼り付けていた。石巻市のゴミ処分場に、軽トラックで往復した。二日間、家の中の
 3. 今後の予定
ボランティアを必要とするお宅と、ボランティアができる作業とのマッチングが必要であり、両者をよく知っている人の仲介があつて実現する。被災地のニーズは、時と共に変化していくのでそれに対応しつつ今後もボランティアワークを継続していく必要がある。
 4. 支援
東京YMCA東日本大震災救援復興募金はボランティアの旅費、現地でワークに必要な道具の調達等に使われる。活動のためには資金が必要であり、今後も継続して募金をお願いしたい。
 5. 感想
本当に助けを必要としている隣人がいる。出来ることは限られていても、今我々に出ることは何かを考え支援の輪を広げていきたいと思う。



壊れた車を移動する。重機が入れない場所ではボランティアが活躍する。

思いを聴く関係作り

日本キリスト教団涌谷教会 牧師 飯岡洋介

涌谷町は石巻市より30分ほど内陸にあり、家屋の倒壊などはあったものの宮城県では被害が比較的少ないと言えます。しかし石巻市に多くの関係者、親類もおり、また、救援活動が活発になるに従い、涌谷町は隣人としての役割を果たすことになりました。

東京YMCAからは、私への安否の問い合わせに始まり、災害救援支援の申し出を受けました。石巻イエス之御霊教会や石巻山城町教会との関係から、東松島市赤井地区や石巻小学校前の商店街を中心に泥出し、瓦礫撤去のワークを実施となりました。キャンプの宿泊所として涌谷町世代館や箕岳公民館を使用できることは、涌谷教会の歴史と地域に根を張った保育園の働きによると思います。泥だらけで戻るボランティアのために公民館館長がすぐに乾燥付洗濯機を備えて下さいました。感謝です。関係が紡いでいく様を実感しました。

ワークキャンプでは、ディボーションのときを必ず持っています。そこで、私は瓦礫の撤去など目に見える作業も大切ですが、実はその関わりをとおして被災者の思いを聴き、コミュニケーションをゆつくり作ることが大切と話しました。泥だらけの中に人生が詰まり、また、愛する者を思い起こすことにもなるのです。被造物である自然の中にまた被造物である人間が置かれています。「神様を恐れることは知恵のはじまり」と箴言にあります。小さな存在であり、謙遜さをもち、命を与えられている者として、今隣人とともに生きることを促されていると思います。大規模な救援も必要ではありますが、YMCAなど民間は、被災者と共にあつて、一つ一つの小さな関わりを長く続けていくことではないでしょうか。気負う必要はありませんが、始まったばかりだと思います。

前向きだった被災地の方々

ボランティアリーダー 野田晴子

石巻市に入ると、どこをな勘違いをしていたという見てもゴミの山が広がってことに気がきました。山積みて、街中に強烈なヘドロみになって捨てられているの悪臭が漂っていました。物は、ゴミではなかったの商店街のお店や家に流れ込です。その汚れて壊れている大量のヘドロをかき出した物はすべて、生活必需品し、ヘドロまみれになってや商売道具、家族の歴史がしまった物を道へ運び出し詰まった思い出の品、そしてながら、徐々にそこに住んで大切な宝物でした。それでいる方々からお話をうかがうことができました。てきた物が、津波で一瞬にまじ合いながら、笑顔で来へと進んでいました。

生きていく鳥たちが、生きて飛び回る空を、あなたに残しておいてやるだろうか父さん。森は神聖(スピリット)を秘めた体験の場とよ、すべての生き物を治す子どもたち、そしてを、あなたに残しておいてやるだろうか父さん(作詞作曲・笠本透「私の子供達へ」)

自然に守られて生きる

私たちが人間の成長の糧と述がありますが、果たしと体験の森へ「実行委員会」(日本YMCA同盟、東京YMCA、ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟、のです。しかし私たちは



被災地からの手紙

・・・その節は本当にお世話になりました。おかげさまで4月中旬には避難所を出て、やっと自宅で生活できるようになりました。父と私だけではとても片付けることのできなかった大量のドロやゴミの運搬など、たいへん助かりました。この連休も家の中の整理の日々ですが、なんとか落ちついた生活を取り戻しつつあります。復興にはまだまだ時間がかかりそうですが、YMCAの皆様をはじめ、全国からのボランティアさんやテレビなどでの応援メッセージに励まされています。ご滞在中には余震も多く、またヘドロの健康への悪影響もあるかもしれない中、本当にありがとうございました。(東松島市 末永)

赤三角

機会があり仙台近郊の被災地を訪れた。仙台市内からわずか車で20分ぐらいのところに広がるガレキの山、本来ならば田植えが始まる季節であるが、海水が冠水したままの広大な田んぼ。私の見たのは被災地のほんの小さなひとつの点ではあるが、このような状態が500キロにわたって広がる東北の地が果たして再生できるのか暗澹たる気持ちとなった▼そのような中で被災地の支援に必死に取組んでいる現地YMCAのみならず私たちがどのような支援ができるか、今まさにそのことが問われているのではないだろうか。大震災発生直後、ワイズメンスクラフは任意団体の身軽さで仙台YMCAへ支援物資を送る活動を開始した。東京YMCAも妙高高原ロッジの地の利、人、車両を提供して協働した。その後東京YMCAは、リーダーを中心とした小人数のグループが石巻で数回にわたってボランティア活動を行ない、関係を築いてきている▼これから東京YMCAの充実している会員組織の持ち味を活かしての支援活動を期待したい。今こそ会員とスタッフの協働が大事なときではないだろうか。被災者が主体であることを忘れず、声を聞きつつ、全東京YMCAをあつめての災害支援チームを作りあげることが望まれている。このことは他者の為ではなく、自分たちが被災者となった時の備えとしても必要なことである。(理事 鈴木健次)

東日本大震災 広がる支援

▼1面参照



ワークキャンプを行った石巻の商店街にもランタンを届けた。

会員部 募金により

ランタン300個送る

大地震から2ヶ月。未だ。停電の時にろうそくに電気などのライフラインは心もとないこと、特に子が復旧していない地域、度々もたちの不安が大きいと。余震で停電に見舞われる地域もあることから、東、大きな笑顔で受け取った。ランタンを愛する地域の人々から、ランタンプロジェクトを開いた。震災後、手に入り、願いつつ、被災者の方々に届けていきたい。



（山手センター）

茨城YMCAと協働

避難所支援 3/16〜4/5

つくば市では原発問題の影響を受けた、いわき市民館ではお年寄りから未熟児までが生活をし、子どもの遊ばすスペースでは、走れない、寝れない、それに伴い、夜眠れない・発散できる場所がない・震災の不安・ストレスなど様々な要素があった。多くの子どもたちへのサポートと安全に配慮するため、東京YMCAからスタッフ・リーダーを派遣し、

てもらい、室内遊びから関係を作り外遊びなどの活動を提供することができた。活動は4月5日まで行われ、翌週には避難所も閉鎖された。期間中にかかわったスタッフ・リーダーは延80人であり、内40人が東京YMCAから派遣された。今回の活動を通し、つくば市社会福祉協議会との関係も深まり現在も信頼され多くの場面でYMCAの話が出るようになった。

(和田賢一)

山手センター チャリティデー

4月30日10〜14時、東日員、ワイズメンズクラブに本大震災の復興救援募金活動として、「第1回チャリティデー」を実施した。YMCAによる応援メッセージコーナー、国際ホテル中で山手センターでは、専門学校学生によるコーヒーマーケット、立教大学学生による英語の部屋、キャンパスに通っている生徒たちによる英語の部屋、読書会など催され、訪れた子どもたちは最後まで遊び、楽しんでくれた。なるべくゴミを出さず、電力も最小限に抑え、環境に気を遣う1日も心がけたい。お預かりした募金額は137,544円となった。

南センター イベント

リーダーが企画・運営



南センターのボランティアリーダー

三菱商事株と協働で インターナショナルスクール

東京YMCAインターナショナルスクール(TYIS)の生徒たちは、被災地の子どもたちへ応援メッセージを書いた。このメッセージは、三菱商事株式会社が被災地に贈る絵本100冊に添えて届けられた。

江東センター

江東ワイズと協働で

3月19日、今回の東北関東大震災に伴う津波の被災地、千葉県旭市飯海沿岸数百kmにわたって参加した。地震発生の際には現地にボランティアセンターが立ちあがったと刻んだ。

高石ともや コンサート

パン格拉デシユと東日本のために



浅草の稲荷神社で歌う 高石ともや

ワイズメンズクラブの取り組み

炊き出し・救援物資・募金活動

ワイズメンズクラブ国際協会・

東日本区では、地震、津波発生後いち早く「東日本大震災・支援対策本部」を立ち上げ、被災者の支援活動に全力で取り組んでいます。YMCA同盟や東京YMCA等の都市YMCAに協力し、仙台YMCA、盛岡YMCA等の被災者支援活動を、現地のニーズに対応しタイムリーにサポートすることを心がけています。



3月16日には、仙台YMCAからの要請に基づき、毛布、食料等の緊急支援物資の提供を全国のワイズメンに呼びかけました。東京YMCAとの協働により、妙高高原ロッジを支援物資集積基地としましたが、数日間で段ボール約400箱の物資が集まりました。地元の信越妙高ワイズメンズクラブや近隣の方々による仕訳作業の後、3月20日を第1陣として新潟、郡山経由で、4回に亘り直接仙台YMCAに搬送しました。それ以降にも交通事情、宅配便事情が困難な中、東京ひがしワイズメンズクラブ等の協力により、そのときどきにおいて必要であるが現地では調達が困難なもの（軽トラック、電動自転車、発電機、高圧洗浄機、スコップ、ガスボンベ等）を随時運び込み、ワイズの機動力を役立てていただいています。

募金活動も各所属YMCAと協働あるいはワイズ単独で街頭募金を行う等、積極的に取り組んでおり、海外のワイズンからの献金を含め、5月9日現在で約900万円が東日本区に託されています。

その他にも、クラブ例会での食事を切り詰めてその費用相当を募金したり、被災地で炊き出しを行ったり、各地のワイズメンズクラブが工夫した支援活動に取り組んでいます。

被災者の支援は今後も息の長い取り組みが必要ですが、ワイズメンズクラブの目的はYMCAと地域社会への奉仕であり、まさにその真価を発揮すべきときです。心と力を合わせて支援活動を続けていきます。

(ワイズメンズクラブ東日本区書記／支援対策本部統括

田中 博之)

4月29日、「高石ともや」が、日本キリスト教団浅草教会で行われ、約1000人の参加があった。このコンサートは、1997年に故江崎玲子先生（恩春期問題研究所）のプでも、精一杯、生きたいの（ロデュースにより、神田の）です（『海に向って』）東京YMCAチャペルで、今年で第15回目を迎えた。益金は毎年パンクラデシユYMCAのため、高石ともやさんは、被災者を励ましたいと、4月1日に浅草のかっぱ橋商店街と近くの稲荷神社内でも歌い、道行く人に募金を呼

いんぷおめーしょん

INFORMATION

インフォメーション

■早天祈祷会■

日 時：6月1日(水) 7:00～8:30
奨励者：宮崎 幸雄氏
(日本YMCA同盟名誉主事)
会 場：山手センター 101ホール
お問合せ：会員部
(Tel03-3615-5568)

■中国語の聖書に親しむ会■

日 時：6月13日(月) 18:30～20:30
会 場：山手センター
指 導：仲田達男氏(元財団理事長)
参加費：無 料
お問合せ：山手センター
(Tel 03-3202-0321)

■旧約聖書に親しもう■

＜キリスト教相互理解セミナー＞
日 時：6月23日(木) 18:00～20:30
会 場：山手センター
テキスト：「旧約聖書ヨシュア記」
指導予定者：秋山昇牧師(キリスト教
ガリラヤ福音教団)
参加費：無 料
お問合せ：山手センター
(Tel 03-3202-0321)

■午 餐 会■

＜文化講演会－昼食をともに＞
日 時：6月23日(木) 12:00～13:30
会 場：東京大学YMCA
(東京メトロ南北線東大前駅)
テーマ：「東日本大震災 YMCA救援
活動の現状とビジョン」
卓話者：島田 茂氏
(日本YMCA同盟総主事)
参加費：3,000円(食事なし1,500円)
お申込み：賛助会事務局
(Tel 03-3615-5568)

■Ｙわい歌の広場■

懐かしい唱歌や童謡を歌ったり、地
域の皆さんとお喋りしながら、楽しい
ひとときを過ごしませんか。お友だち
を誘って、ぜひご参加下さい。
日 時：6月9日(木) 14:00～15:00
会 場：東陽町センター
参加費：200円
お問合せ：東陽町センター
(Tel 03-3615-5565)

2011年サマープログラム (日帰りプログラム)

記号	キャンプ名	日程	対象	場所	
◆南コミュニティセンター tel. 03-3420-5361					
M-5	ちびっこデイキャンプ	8/1-8/2	年少～年中	都内近郊	
M-6	わくわくデイキャンプ I	8/4-8/6	年中～小2	(田園調布集合・解散)	
M-7	わくわくデイキャンプ II	8/16-8/18	年中～小2		
M-8	わくわくデイキャンプ III	8/16-18	年中～小2	都内近郊(経堂集合・解散)	
M-9	イングリッシュサマースクール キッズ	7/21-7/23	年少～年長	南センター及び都内近郊 (経堂集合・解散)	
M-10	イングリッシュサマースクール ジュニア	7/28-7/30	小1～小4		
M-13	工作サマースクール	8/19	小1～小6		
M-11	体操サマースクール キッズ	8/8-8/10	年中～年長	世田谷区立池尻小学校	
M-12	体操サマースクール ジュニア	8/8-8/10	小1～小4	第二体育館	
◆西東京コミュニティセンター tel. 042-577-6181					
A-4	わんぱくキッズ	7/22,23,24	年中～年長	都内近郊(屋内・屋外)	
A-5	それ行け！ネイチャーレンジャー	8/3,4,5,6	小1～小6	都内近郊(屋内・屋外)	
A-6	ロングデイキャンプ	8/26,27,28,29	小1～小6	都内近郊	
A-7	つるじんの工作スクール	8/18,19,20	年長～小2	都内近郊(屋内・屋外)	
◆山手コミュニティセンター tel. 03-3202-0321					
PS-1	ブルサマースクール	7/25,26,27,28,29	年少～年長	山手センター及び近郊	
PS-2	のりもの隊		小1～小6		
PS-3	ブルサマースクール	年少～年長			
PS-4	むかしあそび隊	小1～小6			
PS-5	ブルサマースクール	8/15,16,17,18,19	年少～年長		
PS-6	ふしぎ発見隊	小1～小6			
PS-7	ブルサマースクール	8/22,23,24,25,26	年少～年長		
PS-8	クッキング隊	小1～小6			
PS-9	ブルサマースクール 3DAYSスクール	7/21,22,23	年少～年長		
L-1	ワンダー デイトリップ	8/8,9,10,11,12	年中～小6	日帰り3日間/千葉市少年自然の家1泊	
YE-1	イングリッシュサマースクール	7/27,28,29,30	年少～年長	山手センター英語・会館	
YE-2	キングデーイングリッシュ	8/6,7,8	小1～小6		
YE-3	チャレンジキッズ	8/10,11,12	年少～年長	山手センター及び近郊	
YE-4	イングリッシュデイキャンプ	8/24,25,26	小1～小6		
YE-5	わいわいタウンサマー	7/17,18	年少～年長	都内近郊(東京駅集合・解散)	
YE-6	わいわいタウンセブテンバー	9/18,19	小1～小6		
YE-B	ビッグデアウト	6/12	年中～小2	都内近郊(高田馬場駅集合・解散)	
YK-1	工作スクール(小学生)	8/15,16,17,18	小1～小6	山手センター及び近郊	
YK-2	工作スクール(幼児)	8/22,23,24	年中～年長		
◆東陽町コミュニティセンター tel. 03-3615-5566					
T-6	ファンファン トトリッパーズ I	7/22,23,24	年少～年長	東陽町センター及び近郊	
T-7	ファンファン トトリッパーズ II	8/1,2,3,4			
T-8	ファンファン トトリッパーズ III	8/11,12,13			
T-9	ファンファン トトリッパーズ IV	8/22,23,24,25			
T-10	サマーDayCamp I	7/25,26,27,28	小1～小6		
T-11	サマーDayCamp II	8/1,2,3,4			
T-12	サマーDayCamp III	8/15,16,17,18			
◆江東コミュニティセンター tel. 03-3645-7171					
K-1	わんぱくクラブ	7/29,30,31	年少～年長	江東センター及び近郊	
K-2	GO GO サマーズ！	7/29,30,31,8/1	小1～小6		

◆会員部										2011年4月新人・継続														
【継続】										新入・再入会														
笈川 光郎	井川 重夫	大沢 英雄	川村 英之	小林 住子	鈴木 文雄	橋本 泰和	福嶋 健三	松本 重雄	向井 克彦	柳田 彰	石見羽津映	宇野 雪枝	川上真理子	篠澤 忠彦	高田いずみ	永井 清三	永井 大之	堀江 和広	永井多加子	高橋 一光	篠澤 弘子	佐久間佐智子	大原 真之介	井下 聖司
◆江東センター										【継続】														
村杉 克己	宮本 孝夫	星野 卓子	林田晋一郎	長利 文子	佐藤 基文	小泉真由美	太田 勝美	笈川 光郎																
会員総数										継続														
806名										67名														
(セクター別)										敬称略														

伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)
--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)	伊藤 恵(児童福祉職・芝浦こども園)
--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

東京ワイズメンスクラブ 80周年

東京ワイズメンスクラブは、大阪クラブがスポンサーとなり、日本で第5番目のクラブとして1931年にスタートしてから、今年で80年となる。

奉仕活動を通してYMCAの活動をサポートすることを目的として、諸先輩方により始められた。この素晴らしい理念を持ち、東西日本区の各クラブと、さらに世界のワイズメンスクラブと手を携えて、今日まで活動を続けることができたことに心から感謝したい。

東京クラブが80周年を迎えるにあたり、過去を振り返ってのお祝いだけに終わることなく、これからの100年に向けてのスタートとしたいとの願いから、「今、若者と共に・・・東

宿泊キャンプ				
記号	キャンプ名	日程(泊数)	対象	場所
▶オール東京YMCA (どちらの窓口でも受付できます)				
AT-1	阿南海洋キャンプ	8/1～8/7(6)	小3～小6 中1～中3	YMCA阿南国際海洋センター
▶野外教育センター		tel. 03-3420-5361		
N-1	野尻ユースキャンプ	7/27-8/2	中1～高3	東京YMCA野尻キャンプ
N-2	野尻小学生キャンプ	8/2-8/8	小1～小6	
N-3	野尻CITキャンプ	8/2-8/8	高2・3年 男子 高2・3年 女子	
NG	野尻学荘	8/8-8/22	小5～高3男子	
▶山中湖センター		tel. 0555-65-7721		
	山中家族キャンプ	8/3-8/7	家族	東京YMCA山中湖センター
▶南コミュニティセンター		tel. 03-3420-5361		
M-1	山中ビレッジ ネイチャーキャンプ	7/23-7/25(2)	小1～小6	東京YMCA山中湖センター
M-2	山中ビレッジ ネバーランドキャンプ	7/25-7/27(2)	年中～小2	
M-3	赤城やまのキャンプ	7/28-7/31(3)	小1～小6	前橋YMCA赤城キャンプ
M-4	妙高野尻ファミリーキャンプ	8/12-8/14(2)	家族・友人	東京YMCA妙高高原ロッジ
▶西東京コミュニティセンター		tel. 042-577-6181		
A-1	山中ビレッジ トーテムキャンプ	7/23-7/25(2)	年中～小6	東京YMCA山中湖センター
A-2	赤城チャレンジキャンプ	8/1-8/4(3)	小1～小6	前橋YMCA赤城キャンプ
A-3	戸隠ネイチャーアドベンチャーキャンプ	8/19-8/23(4)	小1～小6	戸隠高原ペンション「あぜりあ」
▶山手コミュニティセンター		tel. 03-3202-0321		
C-1	富士山登頂 父と子のキャンプ	7/16-7/18	父と子(小1～小6)	日本YMCA同盟東山荘
C-2	水泳合宿	7/21-7/23	小1～高3	千葉県日本エアロビクスセンター
C-3	山中ビレッジ・水と緑のキャンプ I	7/23-7/25	年中～年長	東京YMCA山中湖センター
C-4	山中ビレッジ・水と緑のキャンプ II	7/25-7/27	小1～小6	東京YMCA山中湖センター
C-5	妙高 自然満喫キャンプ	8/1-8/4	小2～小4	東京YMCA妙高高原ロッジ
C-6	赤城ワイルドキャンプ	8/4-8/9	小2～小6	前橋YMCA赤城キャンプ
C-7	尾瀬グリーンキャンプ	8/16-8/18	年中～小4	尾瀬戸倉 尾瀬パークホテル
L-2	道志の森 緑とせせらぎサマーキャンプ	8/2-8/5	小1～中3	道志の森キャンプ場
▶東陽町コミュニティセンター		tel. 03-3615-5566		
T-1	山中ビレッジ・はじめてキャンプ	7/25-7/27	年中～小2	東京YMCA山中湖センター
T-2	妙高高原・山と川のキャンプ	8/4-8/7	小1～小6	東京YMCA妙高高原ロッジ
T-3	赤城やまアドベンチャーキャンプ	8/17-8/19	小1～小6	前橋YMCA赤城キャンプ場
T-4	野尻湖カヤックキャンプ	8/21-8/23	小1～小6	東京YMCA妙高高原ロッジ
T-5	高尾の森ワンデイトリップ	9/10-9/11	年長～小6	高尾の森わくわくビレッジ

■リーダースキルアップ講座～子どもの遊びワークショップ～

地域で、子どもたちの成長を支援する子ども会活動や、保育の現場などで活躍される指導者に対してのワークショップです。実際に自分で体験しながら学ぶことができるので、楽しみながらスキルアップできます。

「緊張をほぐすゲーム!アイスブレイク」

日程:6月12日(日) 10:00～15:00/講師:プロジェクトアドベンチャージャバントレーナー/参加費:1,050円(昼食代・消費税込)

「夏にそなえよう!キャンプファイヤー実践法」

日程:6月19日(日) 10:00～15:00/講師:東京YMCAキャンプディレクター/参加費:1,050円(昼食代・消費税込)

「子どもが夢中になる!歌遊び・体操遊び」

日程:7月3日(日) 13:00～16:00/講師:体操&うたのお兄さんユニット ミツル&りょうた/参加費:525円(消費税込)

上記の講座はいずれも・・・

対象:高校生以上で、遊びを通して子どもと接する技術を学びたい方 40名/会場:高尾の森わくわくビレッジ
申込方法:5日前までにお電話にてお申込みください。(応募者多数の場合は抽選)

■おやじと子のアウトドアライフ～デイキャンプ編

この夏、家族でアウトドア活動をしてみたいけれど今までやったことがない・・・というご家族(父と子)のためのプログラムです。親子でのレクリエーションや野外料理などを楽しみます。

日程:7月24日(日) 10:00～16:00/会場:高尾の森わくわくビレッジ

対象:小学3年生～小学6年生の子どもと父親 20組 /参加費:ひとり1,050円(親子2人場合は2,100円)

申込方法:6月24日(金)までに往復はがきにお子様氏名・父親氏名・年齢・学年・性別・郵便番号・住所・電話番号明記の上、「父と子のアウトドアプログラム」係まで。返信ハガキに返送先住所・氏名をご記入下さい。応募多数の場合は抽選。(当日消印有効)

詳しくはお電話またはホームページにてご確認ください

高尾の森 わくわくビレッジ

高尾の森わくわくビレッジはYMCAスタッフが運営しています

042-652-0911

〒193-0821 八王子市川町55
www.wakuwaku-village.com